



キッズクリエイティブプロジェクト企画

企画・販売：一般社団法人プロペラ
デザイン製作：有限会社ダダグラム

東京都世田谷区代沢4-18-21 有限会社ダダグラム内
03-5787-6993 <http://www.propeller-sp.com>

【はじめに】プロジェクトのテーマとなりたち

プロジェクトのテーマ

“Kids Create the Future” 『子どもたちが未来を創る』

プロジェクトのなりたち

私たちは東日本大震災の直後に現地を訪問し、固い体育館の床の上で寝起きされている過酷な避難所生活を見た時に「被災者に安らぎを与え、心が癒されるようなイスを作りたい」と思い立ちました。それから試行錯誤を重ねて2015年に、絵を描いてプリントできる段ボール製のイス「Com.チェア」を完成させました。Com.とは「コミュニケーション」。つまり人に何かを伝え、人との繋がりが生まれるイスという意味です。



震災から6年が過ぎ、被災地への関心が薄れ、復興予算や支援も減少している今。そして昨年4月に起こった熊本地震からの復興が課題となっている今。Com.チェアを活用して被災地への関心を呼び戻し、未来を担う子どもたちを支援する為に立ち上げたのが『キッズ クリエイティブ プロジェクト“ema”』です。

【コンセプト】 キッズ クリエイティブ プロジェクト “ema”とは？

プロジェクト名「ema (えま)」とは？

神社で神様に夢や願いを伝えるために書く「絵馬 えま」からきています。絵馬のように、Com.チェアに子どもたちの夢や願いを描いてもらいたい、という思いで名付けました。



プロジェクトの骨子

☆子どもたちがものづくりの楽しさを体験し、創造力を育む機会を提供する☆

ワークショップや公募などで、被災地の子どもたちにCom.チェアの絵を描いてもらいます。目的によっては描くテーマを決めますが、絵の内容は子どもたちの自由な発想にまかせます。



☆子どもたちの作品や創造力を生かして、社会活動、復興支援、交流を行う☆

子どもたちが描いたCom.チェアを、避難所や福祉施設に提供したり、地元の観光PRに利用したり、交流のある国内外の子どもたちと交換し合うなど、社会的な活動の為に利用します。



☆協賛金や収益を子どもたちの活動や、被災地の復興支援のために利用する☆

企業や団体様からの協賛金や、Com.チェアを購入していただいた収益から、子どもたちの活動支援や被災した自治体の復興支援などのために、寄付をさせていただきます。



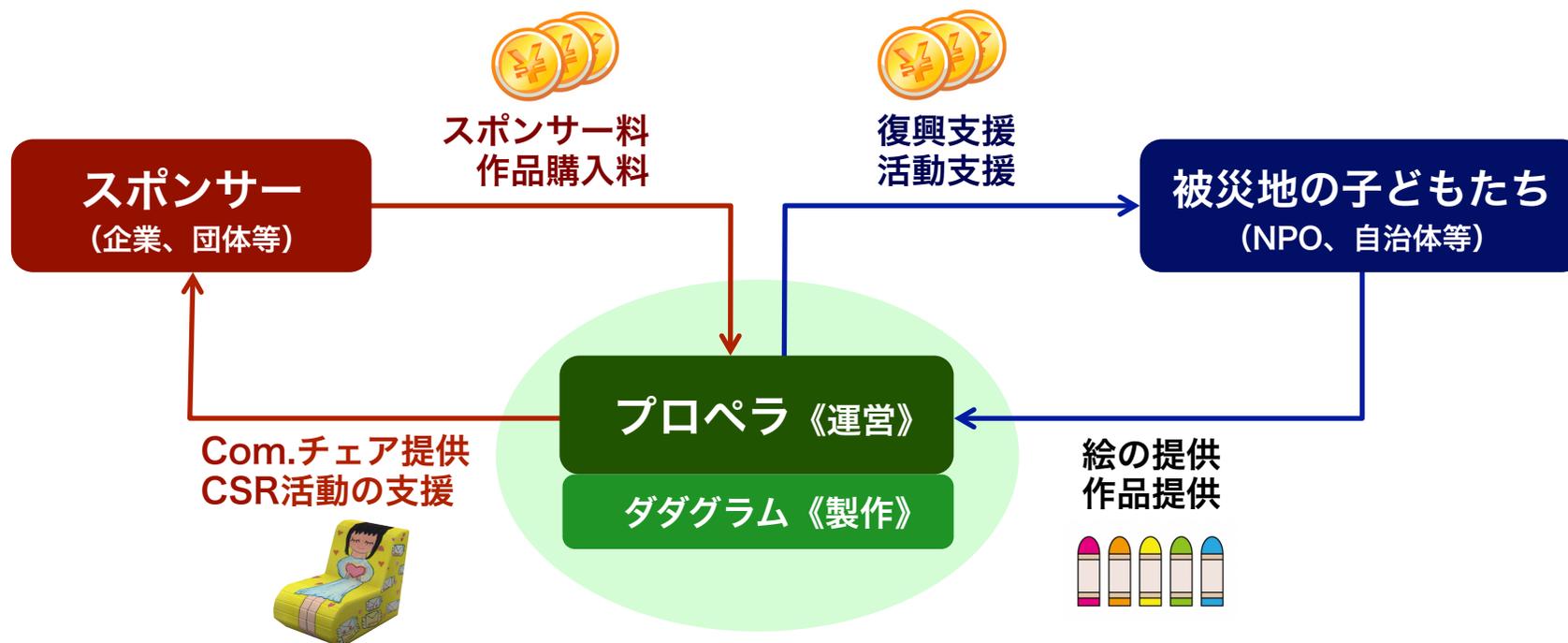
【コンセプト】プロジェクトの支援のしくみ

被災地の子どもたちの活動支援や復興支援を行うためには、プロジェクトに賛同していただける企業・団体などスポンサーの方々からのご協力が必要になります。

企業のCSR活動の一環として、プロジェクトへの協賛金や寄付金、あるいは子どもたちが描いたCom.チェアを購入していただいた代金を、被災地への支援金として活用させていただければ幸いです。

プロジェクトの3つの柱

プロジェクトの柱となるのは、Com.チェアに絵を描く「被災地の子どもたち」、資金提供をしていただく「スポンサー」、全体の運営とCom.チェアの製作を行う「プロペラ」の3者。その3者が一体となった支援のしくみを作りあげていきます。



【作品集】 絵を描いていただいたみなさま

プロジェクトの第一弾として、まずは東日本大震災の被災地である福島県相馬市と、宮城県石巻市のNPOにご協力いただき、お子さんたちに絵を描いていただきました。その2つのNPO団体をご紹介します。

☆NPO法人「にじいろクレヨン」（宮城県石巻市）

東日本大震災直後の2011年3月22日、被災した子どもたちのケアを果たすために「石巻こども避難所クラブ」を結成。2012年9月にNPO法人「にじいろクレヨン」を設立。お絵描き、ものづくりを中心に、幅広いレクリエーション活動を数多くの仮設住宅地で行っている。



☆NPO法人「ふれあいサポート館アトリエ」（福島県相馬市）

1966年に児童の絵画造形教室として創設。子どもから高齢者まで、誰もが地域社会と関わって生き生きと暮らせる場の提供を目指し、2003年にNPO法人化。主な活動は、絵画造形教室など創作活動、合宿キャンプなどの自然体験活動、高齢者に対するデイサービス事業、「相馬こどものみんなの家」の運営など。



【作品集】 宮城県石巻市 「にじいろクレヨン」

● C-NK-1



● C-NK-2



【作品集】 福島県相馬市「ふれあいサポート館アトリエ」 (その1)

● C-FA-1



● C-FA-2



【作品集】 福島県相馬市「ふれあいサポート館アトリエ」 (その2)

● C-FA-3



● C-FA-4

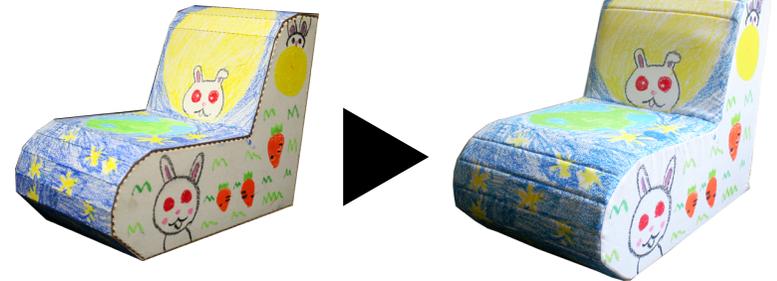


【基本情報】 Com.チェアの描き方、つくりかた

Com.チェアはイス形の立体。絵を描くには下記の①と②の方法がありますが、いずれもバランスやレイアウトを考えながら描いていく必要があるため、子どもたちにとっては空間を意識した図画の訓練になります。またComチェアを組み立てることも、共同で行うものづくり作業。楽しみながら工作の学習をすることができます。

① Com.チェアのミニチュアに描く

Com.チェアのミニチュアに絵を描き、データ化してカバーに転写プリントします。サイズが手頃なので、一人で工夫し完成することができます。



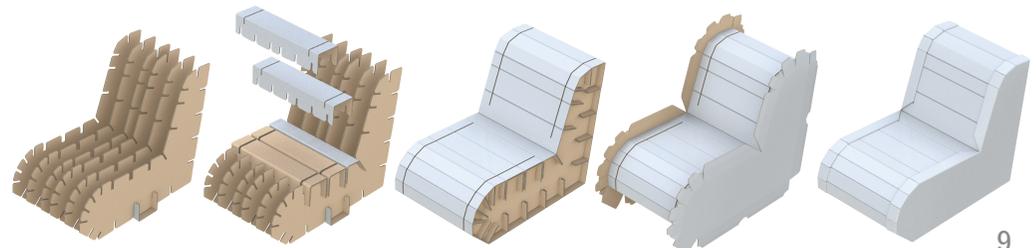
② Com.チェアの実物に直接描く

無地のカバーをつけた実物のCom.チェアに直接、クレヨン、マジック、水彩等で絵を描きます。面積が広いので、複数名で描き分けるのも有効です。



③ Com.チェアを組み立てる

Com.チェアは平面の段ボールからパーツをくり抜き、ネジや接着剤を使わずにはめ込みで組立てる構造。プラモデルのような作る楽しみがあります。



【基本情報】 Com.チェアの特長と仕様

Com.チェアの特長

Com.チェアは、段ボールでできたボディをクッション付きのカバーで覆った構造で、絵や文字を描いたり、データ化した絵や写真等を鮮明に印刷することが可能。そんなCom.チェアには、次の5つの特長があります。

1. 見た目のインパクトが大きく、座ることで記憶に強く刻み込まれる
2. 複数を組み合わせることで、多彩な表現やディスプレイが可能になる
3. 軽い段ボール素材なので、移動しやすくスペースを有効活用できる
4. イスとカバーに防炎加工を施しているので、イベントに使用できる
5. イスもカバーも取り替えが可能なので、何度でも再利用できる



Com.チェアのサイズ・仕様

サイズ	W520mm × D870mm × H660mm
総重量	5kg
耐荷重	100kg
構造部材	防炎ダンボール
張り材	綿 or ポリエステル（防炎・撥水加工）
クッション材	ウレタンフォーム



【基本情報】 企画運営&メーカーの紹介

企画・営業・運営 **一般社団法人プロペラ**

一般社団法人プロペラは、ダダグラムのスタッフを中心に2016年12月に設立した社団法人。当初はダダグラムと一体で社会的事業の企画・営業・運営を行いながら、徐々にダダグラムとは独立して幅広く活動して行く予定です。

プロペラは、ものづくりを通じて恵まれない境遇にある人々への支援を行うことを目的とし、次のような事業を行います。



- (1) 被災者や障がい者を発信者とした、ものづくりやアートイベントの企画および運営
- (2) 被災者や障がい者のアート作品の紹介と販売、およびマネージメント
- (3) アーティストの作品の紹介と販売、およびマネージメント
- (4) 街おこしや地域再生の企画・研究、およびサポート
- (5) 災害や事故から身を守るライフサポート商品の企画・制作、および販売

デザイン・製作 **有限会社ダダグラム**

ダダグラムは戦略的デザインを生業とする会社です。プランニングからコンセプトの構築、デザイン、最終クリエイティブ開発まで一貫したお仕事をさせていただいています。



- スポーツクラブの空間・インテリア
- イベント用衣裳や企業のユニフォーム
- パンフレット・名刺などの印刷デザイン

